

令和2年度決算

令和2年度の一般会計と3つの特別会計及び水道事業会計、公共下水道事業会計の決算額は、新型コロナウイルス対策経費の増加により、歳入は総額1099億349万円、歳出は総額1074億805万円と、ともに過去最大の規模となりました。

このため、令和元年度と比較すると、歳入は187億5381万円の増（+20.6%）、歳出は181億8456万円の増（+20.4%）となりました。

会計区分		歳入	歳出	差引残額
一般会計		702億9689万円	681億8169万円	21億1520万円
特別会計	国民健康保険事業	162億6611万円	162億4634万円	1977万円
	介護保険事業	125億8642万円	124億5131万円	1億3511万円
	後期高齢者医療事業	24億6049万円	23億2440万円	1億3609万円
企業会計	水道事業	30億429万円	30億3306万円	△2877万円
	公共下水道事業	52億8929万円	51億7125万円	1億1804万円
合計		1099億349万円	1074億805万円	24億9544万円

※特別会計と企業会計の歳入には、一般会計からの繰入金や負担金が含まれています。